

2008年 春の沢集中

## 金山沢 大荒川谷

日時：2008年6月7日～8日

メンバー：

西村(L)、河崎、後藤(記)

奥秩父縦走路に出る沢登りで、北から遡行する沢の経験がなかったのが今回集中は大荒川谷を選んだ。

6月7日(曇り時々晴)

前日の22時半に本厚木を発ち1時過ぎに入川の溪流釣り場 駐車場に到着。

ネットの天気予報で、奥秩父では午後から崩れ雨になるとの予報。時間短縮のため当初の赤沢谷出合からの入渓を金山沢出合に変更することとなった。天候が崩れないことを祈り、ささやかな入山祝いのあと仮眠。

7時前 駐車場ゲートを後にしばらく進むと、十文字峠に向かう登山道との分岐に出る。この登山道は入川に沿って走る昔の木材運搬トロッコ軌道の跡で所々に細いレールが残っていた。トロッコ軌道の終点が赤沢谷出合で此処から十文字峠への急な登山道となり入川からどんどんと離れ標高が高くなっていく。

この登山道を50分ほど登ると環境庁・埼玉県の名が書かれたチョコレート色の立派な道標が現れた。この道標の真下が金山沢出合で、かすかな踏跡、枝には赤布が結び付けられていた。出会までの下りはかなり急勾配で所々に釣師が残したロープもあり200mほど降り、ようやく金山沢出合に降り立つことが出来た。



■金山沢合

入渓準備の 河崎さん、西村さん

この下りが今回一番の難所だったように思えた。出合で準備を整え10時過ぎに金山沢に入る。小さな滝や淵が連続していたが、胸まで浸かるような所はほとんどなかった。参考にした99年の記録では泳ぎが多いとの記述があったが、入川の金山沢出合までに泳ぎの淵が多いのかもしれない。



■途中の一本

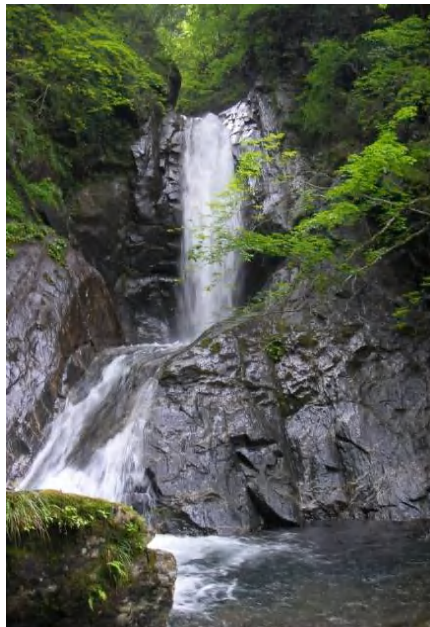
なんか物足りないと話しているような西村さんと河崎さん

また記録では途中に三角形の大岩、倒木多数との記述があったので

気を付けていたが、それらしい岩や倒木は見当たらなかった。10年近くも経つと沢の様子が変わってしまうのかも知れなし

2時間ほど登るとテン場に最適な広い河原に出たが、明日の集中時間を考えさらに進むこととなった。河原から直ぐに右から左に流れ落ちるゴンザの滝に到着。水量も多く雄大、見上げると三段まで数えることでかが出来た。ゴンザの滝は、右側を20mほど登り左方向にトラバースし滝の落口に立つことが出来た。

この先もテン場に適した平坦な河原が在ったが、先を急ぎ13時前に



■ゴンザの滝

さすがに命名されているだけのことはある立派な滝

明るく開けた小荒川谷の出会いに到着。この先は小さな滝やナメ滝が連続し順調に高度を上げる。

途中 狭く暗い7, 8mの垂直な二条の滝が現れ巻くしかないと思っていたが、先頭の河崎さんは滝の落ち込みまで入って行き、左側にルートを見つけシャワークライムで登り後藤、西村さんが続き短い時間で登りきる。テン場予定の 中の二俣の手前10mほどの滝は左側を巻き、西村さんお助けロープで5, 6m降り滝の落ち口へ出た。今回の遡行でお助けロープだったがロープを出したのは、この高巻きの降り一ヶ所だけだった。

この高巻きのあと中の二俣に到着、参考にした記録では二俣の上流にテン場適地の記述があったが、適当な場所が見当たらない。西村さん本流の上流へ、河崎さんは二俣左の沢にテン場を探しに行くも見当たらず、結局二俣を100mほど降った河原に1時間近く整地をし、今晚の宿とした。

整地に苦労した代わりに流木は手の届く至る所にあり、薪集めには苦労せず、この夜は豪快な焚火を堪能した。

6月8日(曇)

前日 行程を稼いだので今日はゆっくり5時半起床で7時出発。奥の三



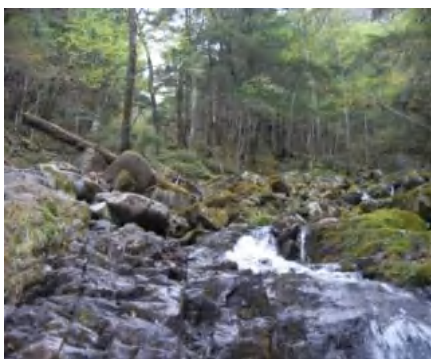
■テン場で 夕食前の腹ごしらえ  
定番の食パン+ソーセージ+マヨネーズを変えたようだ



■テン場でく  
焚火も燃え出すし くつろぐ河崎さん

俣まではナメや小さな滝を越え1時間ほどで到着。

三俣の名が示す通り3本の沢が集まっていた。真ん中の沢を詰め破風山から北に延びる尾根に出るルートを取るようになった。沢には倒木も多く、雪も残っており登り辛い。



■奥の三俣 中央のこの沢を詰める

沢を詰め終わるとその先は深い樹林帯で、深い緑の苔が倒木を一面に覆い絨毯を敷き詰めたように延々と続き素晴らしい光景だった。この景色を見るためにも大荒川沢に来た価値はあると思った。が一見歩き易そうに見えた苔の絨毯だったが、苔を踏み抜き倒木の間の隙間、空洞に何度も足を取られ、この苔の倒木帯の通過に思いのほか時間を取られた。

倒木帯の通過でルートをだいぶ東に取ってしまったようで、目標とした尾根ではなく破風山の東側の登山道に出た。時刻は10時、地図では集中

の甲武信小屋まで2時間15分の行程、12時まで間に合うか。

沢装備を着替え10時30分出発、河崎さん快調に飛ばし12時前に甲武信小屋到着とのことで一安心。

今回の春の沢集中 最後の詰めの苔に覆われた倒木帯の美しい光景が印象的で、夏、秋の季節にはどのように変わるのか、もう一度訪れたいと思っています。

#### コースタイム

6月7日

入川溪流釣場 駐車場(6:45) - (7:45/55) - トロッコ道/登山道分岐(8:05/35) - 金山沢出合下降地点(9:20) - 金山沢出合(9:45/10:15) - (11:20/30) - (12:10/20) - ゴンザの滝(12:35/45) - 小荒川沢出合(13:30) - 中の二俣 テン場(14:30)

6月8日

テン場(7:05) - 奥の三俣(8:05) - 登山道(10:00/30) - 破風山(10:35) - 甲武信小屋(11:55~12:15/35) - 木賊山(12:50) - 戸渡尾根分岐(14:10) - 西沢渓谷林道(15:20) - 駐車場(15:40)

#### 地形図

雁坂峠、中津峡 (1/25000)